

京都の米軍基地(115):子供に銃！

経ヶ岬の米軍通信所フェイスブック(FB)が、戦闘服を着て銃を持つ子供の無修正写真を掲載している(6月2日付&12日付)。

▼銃を持つ子供(修正＝引用者)



このFB写真だけでは子供とは断定できないが、体形・容姿からは、どう見ても子供である。また、子供だとしても、米軍関係者の子供の可能性もあるが、状況からみて、日本の子供の可能性が高い。

そうした子供たちの写真が他にも何枚かある。戦闘服姿で写真を撮ってもらう少女、拳銃付きガンベルトを着けてもらう少年、迷彩服の少年など。

▼戦闘服姿で写真を撮ってもらう少女／ガンベルトを着けてもらう少年／迷彩服の少年(修正＝引用者)



これらの写真が撮られたのは、自衛隊が5月26日、経ヶ岬分屯基地62周年を記念し京丹後市後援をえて網野町八丁浜で開催した「エアーフェスタ経ヶ岬2019」において。このフェスタでは、自衛隊の装備展示、広報イベントに加え、F4戦闘機やUHヘリのデモ飛行も行われた。

ここに米軍も参加、キャンプ座間の陸軍軍楽隊が音楽演奏、第14ミサイル防衛中隊は軍装備展示、経ヶ岬通信所はアメリカンフードを提供した。主催は自衛隊(空自分屯基地)だが、米軍側も全面的に協力したとみてよいであろう。

このフェスタを見に来たのは、FBによれば、約4千人。地元・網野町の人口は1万数千人。会場の八丁浜からは遠い地域も多く、しかも高齢化が進んでいるので、4千人も来たのは驚異的だ。

その会場で、これらの写真は撮られた。子供に戦闘服を着せ銃を持たせたのが自衛隊か米軍かは、FBからだけではわからない。が、子供たちの写真をFBに掲載し、世界中に拡散しているのは、紛れもなく米軍である。

米軍のこのような行為は、平和(積極的平和)の理念に反し、また子供自身の人権の侵害になるのではないだろうか。

